

# 株式型(2010年1月)

## ■運用概況及び運用方針

株式型では、ベンチマークである日経平均株価を中長期的に上回る運用成果の獲得を目標に運用を行っています。具体的には、時価残高の70%程度を目安に日経225型ETFを組み入れることでベンチマークとの連動性を確保し、さらに東証一部上場企業を中心とした国内株式への分散投資も行うことで、全体としてはベンチマークを上回る運用成果の獲得を目指します。

1月の株式市場は、上昇基調で始まりましたが月末にかけて下落しました。円高の一般や米国株式市場の堅調な推移を背景に、日経平均株価は一時2008年10月以来となる10,980円まで上昇しました。中旬以降は、中国の金融引締めや米国の金融規制案が発表されたため、景気回復に対する警戒感から、日経平均株価は10,198円まで下落しました。月末の日経平均株価は10,198.04円(前月末比-348.40円)、TOPIXは901.12ポイント(同-6.47ポイント)となりました。

当ファンドの運用成果は前月末比-2.83%となり、ベンチマークである日経平均株価は-3.30%、東証一部全体の値動きを示すTOPIXは-0.71%となりました。前期末との比較では、当ファンドは+27.66%、日経平均株価は+25.75%、TOPIXは+16.47%となっております。ポートフォリオの状況につきましては、主に卸売業、鉄鋼業、電気機器の各セクターをベンチマークに対してオーバーウェイトしており、医薬品、小売、食料品の各セクターをアンダーウェイトしております。今後とも、株式型時価残高の70%程度を目安に日経平均型ETFの組み入れを行い、個別株式への分散投資も行うことで、より投資効率の高いポートフォリオを構築していきたいと考えております。また、日経平均オプション等も利用することにより、総合的な収益の拡大も目指してまいります。

## ■ベンチマーク

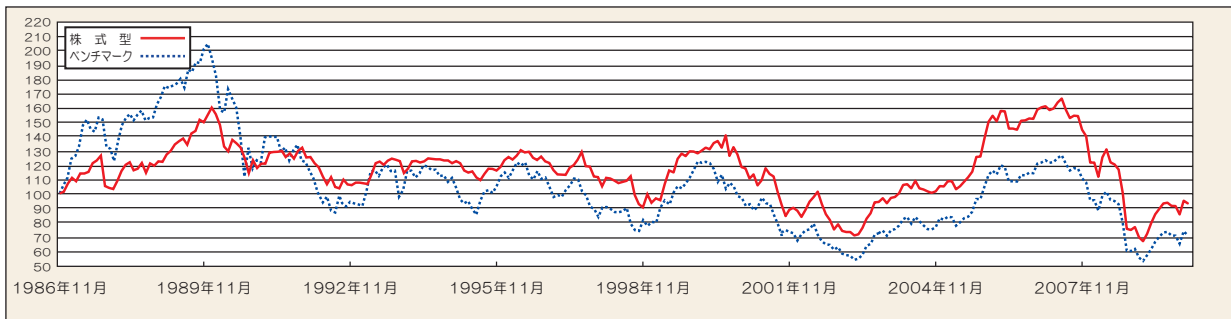
日経平均株価(©日本経済新聞社)

※日本経済新聞社が発表する、東京証券取引所第1部上場銘柄のうち代表的な225銘柄の株価水準を示す指標です。  
※2003年10月1日より、ベンチマークをTOPIX(東証株価指数)から日経平均株価に変更しました。

## ■資産規模

57,595,773千円

## ■月間指数推移



※株式型の指数値は1986年11月1日を100として計算しています。  
※ベンチマークについては、1986年11月1日～2003年9月30日までは、1986年11月1日におけるTOPIXを100として計算しています。  
2003年10月1日以降は、2003年10月1日における日経平均株価を先述の方法で計算した同日のTOPIXと同一の指数値として計算しています。

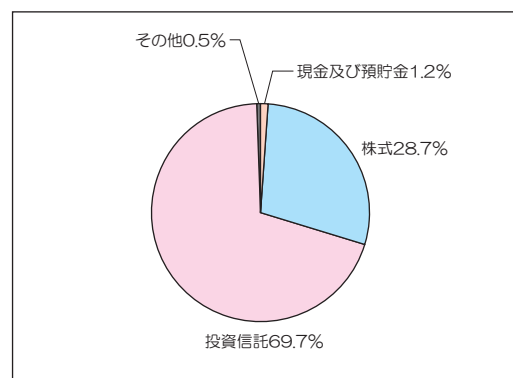
## ■騰落率

	6ヶ月	1年	2年	3年	設定来
騰落率	-0.2%	32.0%	-24.6%	-42.2%	-7.0%
年換算	-0.5%	32.0%	-13.1%	-16.7%	-0.3%

## ■主な保有銘柄

銘柄名	業種
日本電産	電気機器
ファーストリテイリング	小売業
トヨタ自動車	輸送用機器
テルモ	精密機器
キヤノン	電気機器
ファナック	電気機器
東芝	電気機器
本田技研工業	輸送用機器
キーエンス	電気機器
東日本旅客鉄道	陸運業

## ■株式型の資産配分



投資信託は、【日経平均型上場投資信託(ETF)】(主に野村アセットマネジメントおよび日興アセットマネジメント)を組み入れております。

## 債券型(2010年1月)

### ■運用概況及び運用方針

債券型では、投資環境に関わらず、中長期的に安定した利回りを獲得することを目標に運用を行っております。満期まで保有可能な債券ポートフォリオから安定したインカムゲインを確保し、債券、転換社債及び外貨建外債に投資を行うことにより評価益を安定的に拡大させ、利回りを引き上げたいと考えております。現状においては、金利の上昇局面において長期債への投資を進めております。

1月の債券市場は、長期金利が1.30～1.35%台を中心とした値動きとなりました。株式市場の堅調な推移を背景に、債券が売られ金利が上昇する場面もありましたが、米国の金融規制や欧州の財政懸念から世界的に株式市場が調整入りすると、質への逃避から債券が買われ金利の上昇が抑えられました。月末の10年国債利回りは1.314% (前月末比+0.029ポイント)となりました。

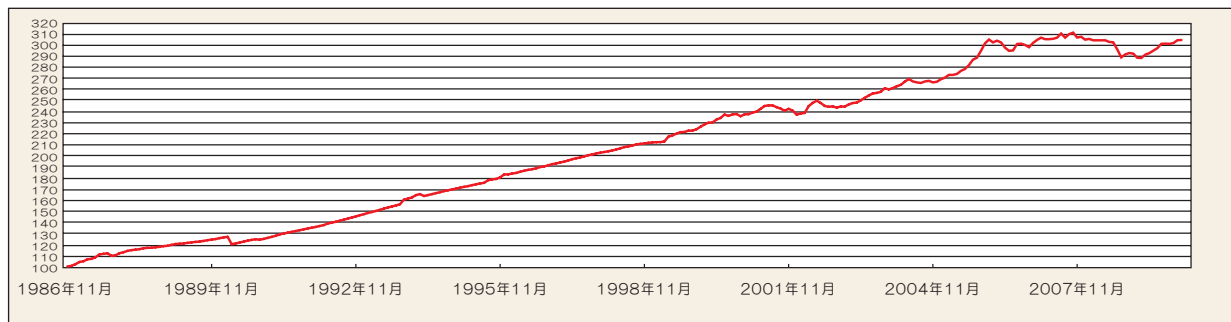
当ファンドの運用成果は前月末比+0.05%、前期末比では+5.54%となりました。今後とも、金利上昇時には債券投資を進めながら、割安感のある転換社債にも投資を行い、ポートフォリオの評価益拡大に努めていきたいと考えております。

### ■ベンチマーク

特定のベンチマークを設定していません。

■資産規模 **88,745,608千円**

### ■月間指数推移



※1986年11月1日における債券型の指数値を100として計算しています。

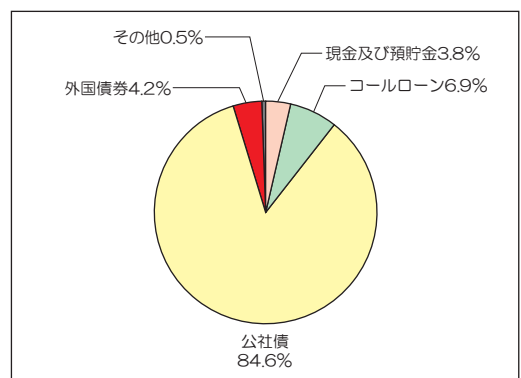
### ■騰落率

	6ヶ月	1年	2年	3年	設定来
騰落率	2.5%	4.6%	-0.1%	0.2%	205.5%
年換算	5.0%	4.6%	-0.1%	0.1%	4.9%

### ■主な保有銘柄

種類	銘柄名	クーポン	償還日
国債	超長期国債20年 # 113	2.100	2029/09/20
国債	中期国債5年 # 49	0.600	2010/09/20
国債	中期国債5年 # 47	0.500	2010/06/20
国債	中期国債5年 # 57	1.400	2011/06/20
転換社債	東レ CB #	0.000	2014/03/12
政府保証債	高速道路機構 # 20	1.800	2016/10/31
国債	長期国債10年 # 289	1.500	2017/12/20
国債	長期国債10年 # 270	1.300	2015/06/20
国債	長期国債10年 # 296	1.500	2018/09/20
国債	長期国債10年 # 258	1.300	2014/03/20

### ■債券型の資産配分



## 総合型(2010年1月)

### ■運用概況及び運用方針

総合型では、中長期的に安定した利回りを確保することを目標に、投資環境に応じて投資リスクと比較し期待収益率が高いと思われる資産に機動的に資金を配分しております。全体としては、ミドルリスク・ミドルリターンの性格を持ったファンドであり、株式型と債券型の中間に位置づけられます。現在の投資環境下では、円建て債券から安定した利息収入を確保しつつ、株式、上場投信(日経225型ETF)の組み入れ比率を高め維持しながら、ポートフォリオ運営を行いたいと考えております。

当ファンドの運用成果は前月末比-0.64%、前期末比では+10.78%となりました。株式投資につきましては、引き続き株価下落時には購入し、株価上昇時には売却を行うことで、売買益の確保と評価額の拡大に努めてまいります。また、日経平均オプション等も利用することにより、総合的な収益の拡大も目指してまいります。債券投資につきましては、引き続き金利上昇局面において投資を行いたいと考えています。今後とも、円建て債券ポートフォリオから安定した利息収入を確保しつつ、株式と転換社債の評価額を拡大させ、運用利回りを高めたいと考えております。

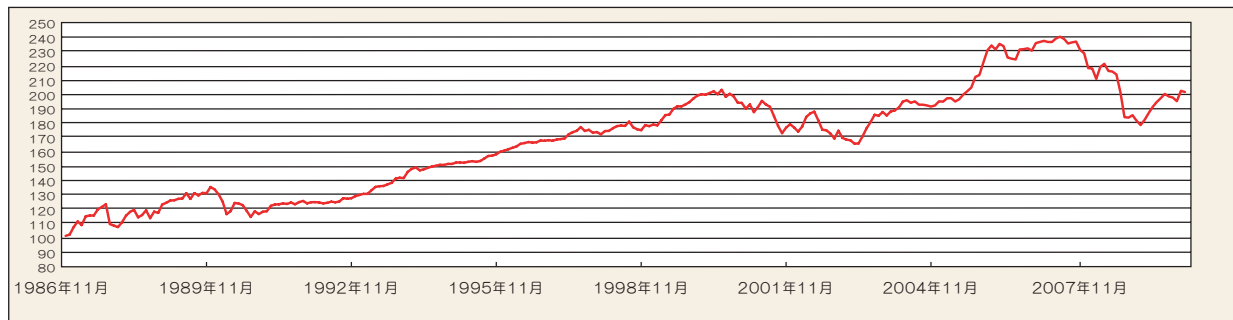
### ■ベンチマーク

特定のベンチマークを設定していません。

### ■資産規模

50,790,958千円

### ■月間指数推移



※1986年11月1日における総合型の指数値を100として計算しています。

### ■騰落率

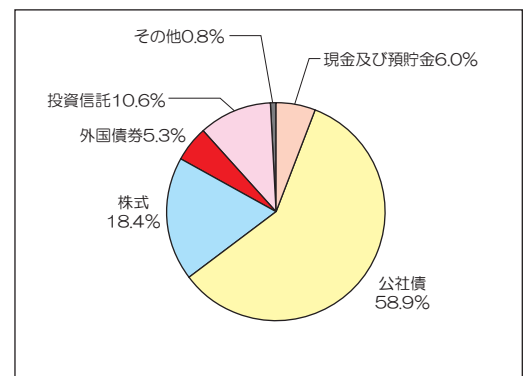
	6ヶ月	1年	2年	3年	設定来
騰落率	1.7%	11.2%	-8.0%	-15.0%	101.5%
年換算	3.4%	11.2%	-4.1%	-5.3%	3.1%

### ■主な保有銘柄

銘柄名	業種
日本電産	電気機器
トヨタ自動車	輸送用機器
信越化学工業	化学
三井物産	卸売業
キヤノン	電気機器
コマツ	機械
テルモ	精密機器
ファナック	電気機器
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業
HOYA	精密機器

種類	銘柄名	クーポン	償還日
国債	超長期国債20年 #113	2.100	2029/09/20
国債	長期国債10年 #286	1.800	2017/06/20
国債	長期国債10年 #273	1.500	2015/09/20
国債	中期国債5年 #49	0.600	2010/09/20
国債	中期国債5年 #47	0.500	2010/06/20
国債	長期国債10年 #277	1.600	2016/03/20
国債	長期国債10年 #285	1.700	2017/03/20
転換社債	東芝CB #	0.000	2011/07/21
転換社債	シャープCB #20	0.000	2013/09/30
国債	長期国債10年 #296	1.500	2018/09/20

### ■総合型の資産配分



投資信託は、【日経平均型上場投資信託(ETF)】(主に大和証券投資信託委託および野村アセットマネジメント)を組み入れております。

## 世界株式型(2010年1月)

### ■運用概況及び運用方針

世界株式型では、世界の株式に分散投資を行い、中長期的にMSCIワールド・インデックス(モルガン・スタンレーが作成している日本を含む世界株式のインデックス)を上回る運用成果の獲得を目指しております。具体的には、モルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投信(株)の運用助言に基づき、組み入れ銘柄の選定を行っております。組み入れ比率は常時95%以上を目安とし、原則として為替ヘッジは行いません。よって、世界の株式相場及び為替相場の影響を受けるポートフォリオとなっております。

当ファンドの運用成果は前月末比-3.48%となり、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックスは-6.52%となりました。前期末との比較では、当ファンドは+36.01%、MSCIワールド・インデックスは+33.05%となっております。当ファンドは企業価値に注目したファンドであり、組み入れ業種も食品、飲料、タバコ、家庭用品、メディア等が中心となり、金融やハイテク株中心に構成されるインデックスとは大きく乖離しております。また、国別の構成比では、ベンチマークでは米国の組み入れ比率が大きくなっておりませんが、当ファンドではイギリスやユーロ圏の組み入れが大きくなっております。その結果、インデックスと当ファンドの連動性は小さくなる場合もありますが、今後とも価値の高い企業に着実に投資を行うことにより、中長期的にインデックスを上回る運用成果を目指してまいります。

### ■ベンチマーク

MSCIワールド・インデックス(円換算ベース)

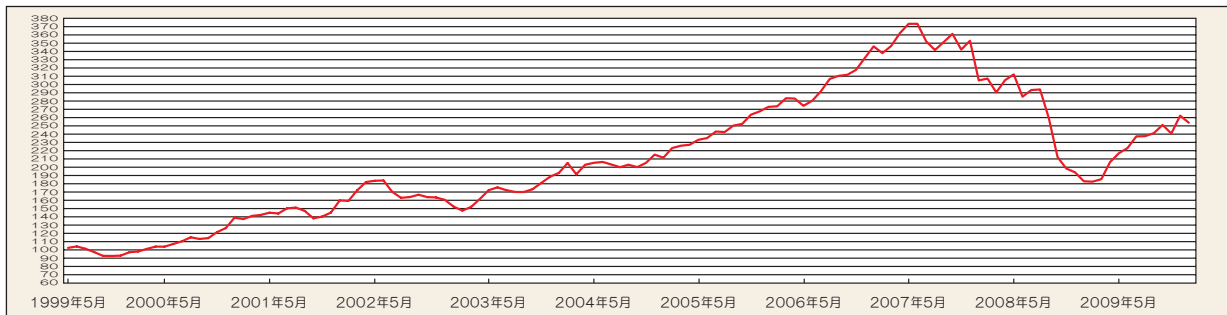
※中長期的には当該インデックスを上回る運用成果を目標としますが、インデックスとの連動を目指すものではありません。

※モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル(MSCI)社が独自に算出している株価指数で、世界の先進23カ国の主要株式を対象としています。

### ■資産規模

67,743,051 千円

### ■月間指数推移



※1999年5月1日における世界株式型の基準値を100として計算しています。

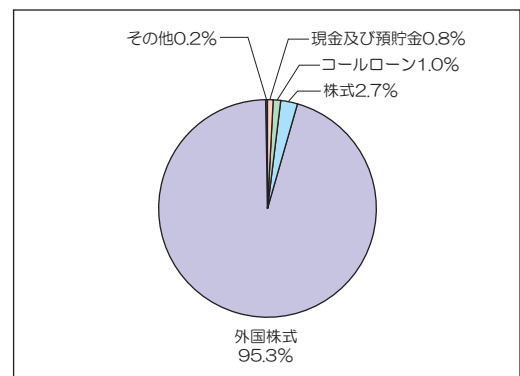
### ■騰落率

	6ヶ月	1年	2年	3年	設定来
騰落率	6.3%	38.0%	-16.9%	-27.1%	153.4%
年換算	13.0%	38.0%	-8.8%	-10.0%	9.0%

### ■主な保有銘柄

銘柄名	業種	国
British American Tobacco PLC	食品・飲料・タバコ	イギリス
Imperial Tobacco Group PLC	食品・飲料・タバコ	イギリス
Nestle SA	食品・飲料・タバコ	スイス
Swedish Match AB	食品・飲料・タバコ	スウェーデン
Unilever PLC	食品・飲料・タバコ	イギリス
Philip Morris International Inc	食品・飲料・タバコ	アメリカ
Experian PLC	商業・専門サービス	ジャージー島
Cadbury PLC	食品・飲料・タバコ	イギリス
Reckitt Benckiser Group PLC	家庭用品・パーソナル用品	イギリス
Procter & Gamble Co/The	家庭用品・パーソナル用品	アメリカ

### ■世界株式型の資産配分



# 世界債券型(2010年1月)

## ■運用概況及び運用方針

世界債券型では、世界の債券に分散投資を行い、中長期的にシティグループ世界国債インデックス(シティグループが作成している世界債券のインデックス)を上回る運用成果の獲得を目指しております。具体的には、モルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投信(株)の運用助言に基づき、組み入れ銘柄の選定を行っております。組み入れ比率は常時高めに維持し、原則として為替ヘッジは行いません。よって、世界の債券相場及び為替相場の影響を受けるポートフォリオとなっております。通貨別では日本円、ユーロ、米ドルの組み入れが多くなっています。

1月の主要国の債券市場は、月末にかけて長期金利が低下する展開となりました。米国の金融機関に対する規制の強化や、中国の金融引締め、ギリシャの財政懸念により、質への逃避から債券が買われ、金利が低下する展開となりました。月末の米国10年国債利回りは3.588%(前月末比-0.253ポイント)、ドイツ10年国債利回りは3.196%(同-0.191ポイント)となりました。

当ファンドの運用成果は前月末比-2.28%となり、ベンチマークであるシティグループ世界国債インデックス(円ベース)は-2.38%となりました。前期末との比較では、当ファンドは+0.04%、シティグループ世界国債インデックス(円ベース)は-1.07%となっております。今後も債券の組み入れ比率は高めに維持し、世界の債券相場及び為替相場に連動するポートフォリオ運営を行っていきたいと考えております。また、運用助言に基づき銘柄の入れ替え取引を行い、より投資効率の高い債券ポートフォリオを構築していきたいと考えております。

## ■ベンチマーク

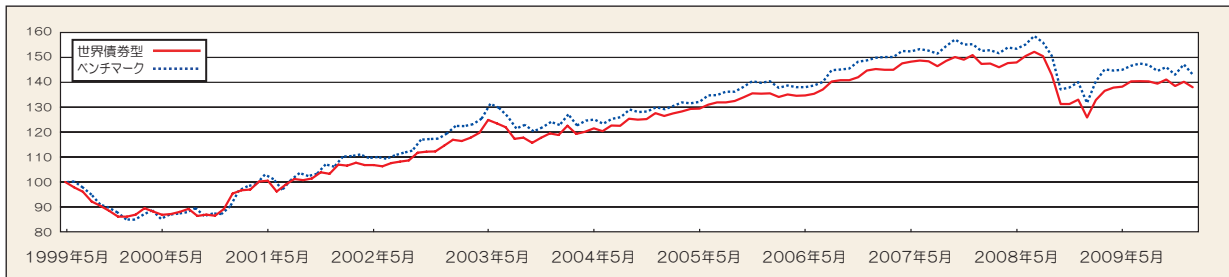
シティグループ世界国債インデックス(円換算ベース)

※シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した債券インデックスで世界主要23カ国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均しています。

## ■資産規模

45,876,466千円

## ■月間指数推移



※1999年5月1日におけるベンチマーク、および世界債券型の基準値を100として計算しています。

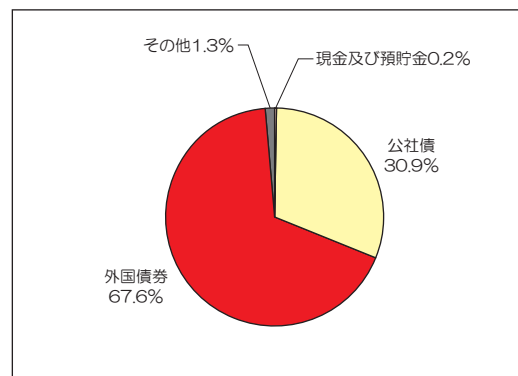
## ■騰落率

	6ヶ月	1年	2年	3年	設定来
騰落率	-2.3%	8.5%	-6.6%	-5.6%	37.4%
年換算	-4.5%	8.5%	-3.4%	-1.9%	3.0%

## ■主な保有銘柄

通貨	銘柄名	クーポン	償還日
EUR	Bundesrepublik Deutschland	5.250	2010/07/04
JPY	長期国債10年 # 247	0.800	2013/03/20
JPY	長期国債10年 # 287	1.900	2017/06/20
JPY	長期国債10年 # 268	1.500	2015/03/20
USD	United States Treasury Note/Bond	4.375	2012/08/15
USD	United States Treasury Note/Bond	4.500	2011/02/28
EUR	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	6.500	2027/11/01
EUR	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	5.250	2017/08/01
EUR	France Government Bond OAT	5.750	2032/10/25
USD	United States Treasury Note/Bond	4.500	2017/05/15

## ■世界債券型の資産配分



## 短期金融市場型(2010年1月)

### ■運用概況及び運用方針

短期金融市場型は、短期金利(代表的なものはコールレート翌日物)程度の運用利回りの確保を目標とします。現在の無担保コール翌日物レートは年率0.10%程度で推移しています。運用対象は、残存期間1年6ヶ月以内の短期債券(国債、政府保証債、地方債、A格以上の事業債・サムライ債)及び短期金融商品(CD、CP、コールローン等)が中心となります。当社特別勘定8勘定の中の位置づけとしては、最もローリスク・ローリターンファンとなり、投資している勘定の資産価格が下落することが想定される局面で、一時的に待避するファンドと考えられます。

当面の運用方針といたしましては、残存期間が1年6ヶ月以内の国債、政府保証債、地方債、A格以上の事業債(転換社債を含む)及びA格以上のサムライ債、ならびに短期金融商品に投資を行い、引き続き短期金利程度の安定した利回りを確保したいと考えております。当ファンドの運用成果は前月末比で+0.00%、前期末比で+0.04%となりました。

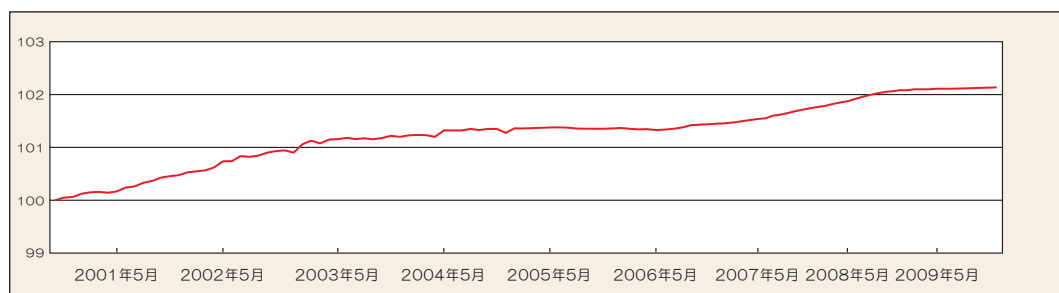
### ■ベンチマーク

短期金利(コールレート翌日物等)

### ■資産規模

3,172,252千円

### ■月間指数推移



※2000年10月1日の短期金融市場型の指数値を100として計算しています。

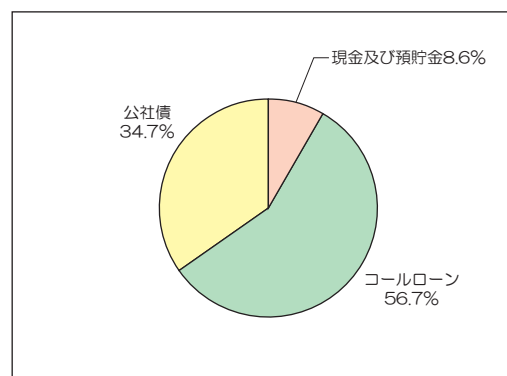
### ■騰落率

	6ヶ月	1年	2年	3年	設定来
騰落率	0.0%	0.0%	0.4%	0.7%	2.1%
年換算	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.2%

### ■主な保有銘柄

通貨	銘柄	クーポン	償還日
国債	国庫短期証券 # 52	0.000	2010/03/10
国債	国庫短期証券 # 67	0.000	2010/02/22
国債	国庫短期証券 # 69	0.000	2010/03/01
国債	国庫短期証券 # 77	0.000	2010/04/07

### ■短期金融市場型の資産配分



# 日本成長株式型(2010年1月)

## ■運用概況及び運用方針

主として、追加型株式投資信託「フィデリティ・日本成長株・ファンド VA3(適格機関投資家専用)」(フィデリティ投信株式会社)に投資しております。

主に、国内の証券取引所に上場されている株式を投資対象とし、個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資することにより、ベンチマークである「TOPIX(配当金込み)」を上回る運用を目指します。なお、個別企業分析にあたっては、フィデリティ・グループの日本および世界主要金融拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。

当ファンドの運用成果は前月末比-1.19%となり、ベンチマークであるTOPIX(配当金込み)は-0.71%となりました。前期末との比較では、当ファンドは+23.71%、TOPIX(配当金込み)は+17.23%となっております。ポートフォリオの状況につきましては、電気機器、機械、輸送用機器といったセクターが組み入れ比率の上位となっております。

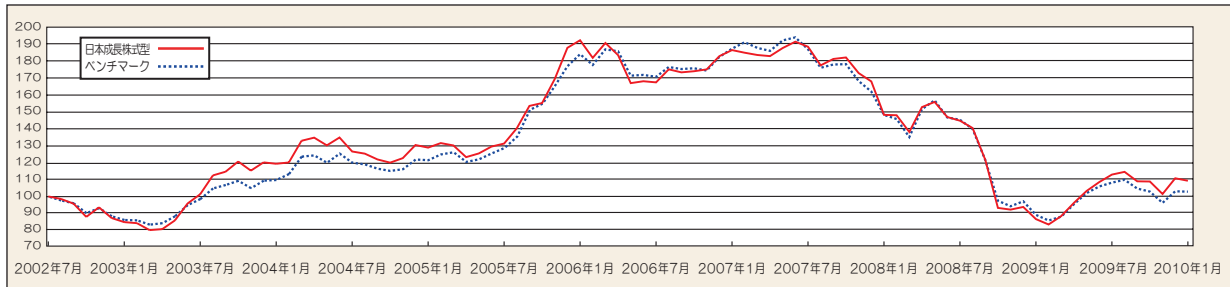
## ■ベンチマーク

TOPIX/配当金込み(東証株価指数)

※配当金込みTOPIXは、現金配当落がTOPIXに与える影響(下落)を除去するために、現金配当を再投資したと仮定して算出したTOPIX(東証株価指数)です。

■資産規模 17,759,725千円

## ■月間指数推移



※2002年8月1日におけるベンチマーク、および日本成長株式型の基準値を100として計算しています。

## ■騰落率

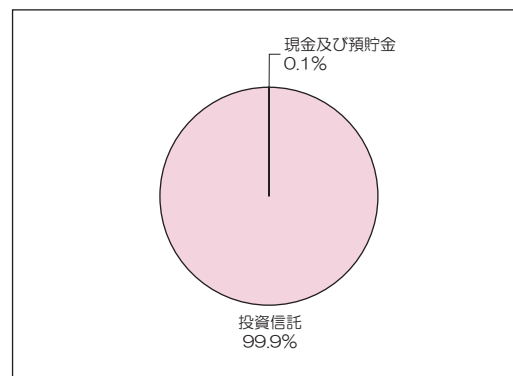
	6ヶ月	1年	2年	3年	設定来
騰落率	-3.4%	26.2%	-26.5%	-41.5%	9.2%
年換算	-6.7%	26.2%	-14.2%	-16.4%	1.2%

## ■主な保有銘柄

銘柄名	業種
ダイキン工業	機械
日本電産	電気機器
パナソニック電工	電気機器
東芝	電気機器
三菱電機	電気機器
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業
野村ホールディングス	証券、商品先物取引業
ミスミグループ	卸売業
オリックス	その他金融業
日立金属	鉄鋼

※2009年12月30日現在 マザーファンド・ベース

## ■日本成長株式型の資産配分



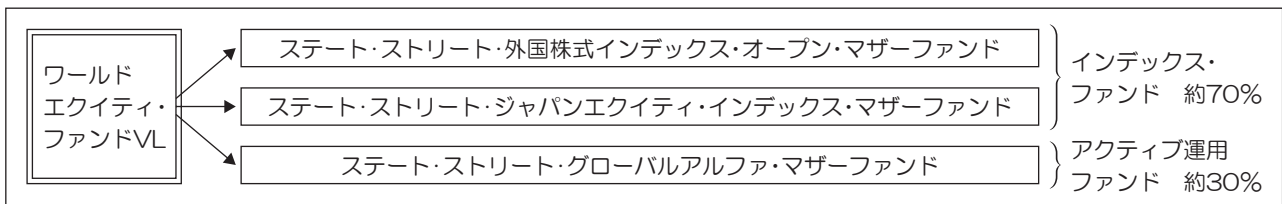
## 世界コア株式型(2010年1月)

### ■運用概況及び運用方針

主として追加型株式投資信託「ワールドエクイティ・ファンドVL」(ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社)に投資しております。

ワールドエクイティ・ファンドVLは、主要国の株式を投資対象とする3つのマザーファンドの受益証券に投資を行います。海外および日本の株式市場との連動性が高いインデックス・ファンドに投資するとともに、資金の一部をアクティブ運用を行うファンドにも投資することで、中長期的にベンチマークを上回る運用成果の獲得を目指します。

当ファンドの運用成果は前月末比-6.65%となり、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックスは-6.52%となりました。前期末との比較では、当ファンドは+28.58%、MSCIワールド・インデックスは+33.05%となっております。



### ■ベンチマーク

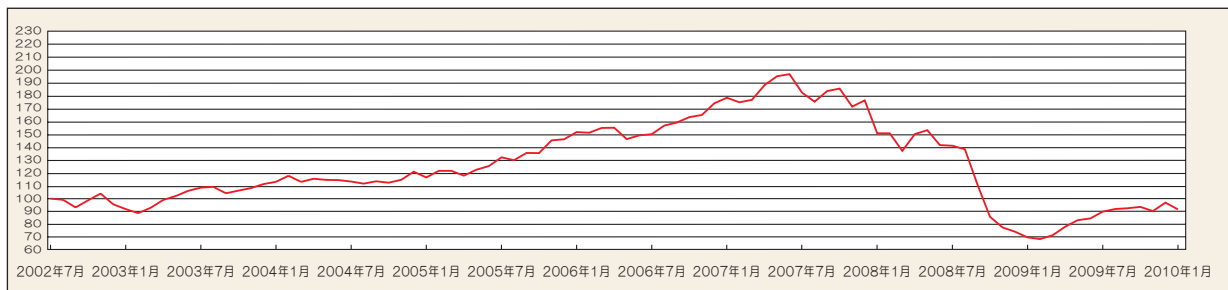
MSCIワールド・インデックス(円換算ベース)

※モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル(MSCI)社が独自に算出している株価指数で、世界の先進23ヶ国の主要株式を対象としています。

### ■資産規模

16,963,385千円

### ■月間指数推移



※2002年8月1日における世界コア株式型の基準値を100として計算しています。

### ■騰落率

	6ヶ月	1年	2年	3年	設定来
騰落率	1.5%	31.0%	-39.7%	-49.1%	-8.7%
年換算	3.1%	31.0%	-22.4%	-20.2%	-1.2%

### ■主な保有銘柄

銘柄名	業種	国
Exxon Mobil Corp	エネルギー	アメリカ
Cisco Systems Inc	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカ
BP PLC	エネルギー	イギリス
Microsoft Corp	ソフトウェア・サービス	アメリカ
Total SA	エネルギー	フランス
Philip Morris International Inc	食品・飲料・タバコ	アメリカ
Telefonica SA	電気通信サービス	スペイン
General Electric Co	資本財	アメリカ
Nestle SA	食品・飲料・タバコ	スイス
International Business Machines Corp	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカ

※ステート・ストリート・グローバルアルファ・マザーファンドの主な保有銘柄を記載しております。

### ■世界コア株式型の資産配分

